第72回 日本スポーツ賞 優秀選手・団体決定

9、10月に行われた杭州アジア大会や、来夏のパリ五輪予選を兼ねた世界選手権などの主要大会で活躍した選手を表彰する第72回日本スポーツ賞（読売新聞社制定、日本テレビ放送網共催）で、各競技団体から推薦された優秀選手29人、優秀団体19チームが出そろった。14日に東京・大手町の読売新聞東京本社で行われる同賞委員会で、大賞など各賞が決まる。

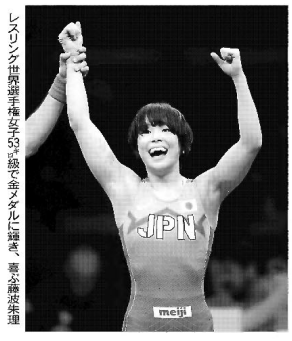
各競技の世界選手権では、陸上女子やり投げの北口榛花（JAL）が8月のブダペスト大会を制した。日本女子の世界選手権金メダルは1993年大会の浅利純子、97年大会の鈴木博美（いずれもマラソン）以来26年ぶり3人目。五輪では、シドニー大会の高橋尚子、アテネ大会の野口みずき（同）の2人で、五輪、世界選手権を通じてマラソン以外での優勝は初の快挙だった。

フェンシング女子サーブルの江村美咲（立飛ホールディングス）は男女を通じ、日本勢初の世界選手権連覇。柔道女子48キロ級の角田夏実（SBC湘南美容クリニック）は3連覇を飾った。

新型コロナウイルス禍で1年延期されたアジア大会では日本は中国に次ぐ52個の金メダルを獲得した。

レスリング女子53キロ級の藤波朱理（日体大）は3戦全勝で頂点に立ち、公式戦の連勝を130に伸ばした。直前の世界選手権を制し、すでにパリ五輪出場を決めていた新鋭は、本番のプレ演習を兼ねたアジアの舞台でも圧倒的な強さを見せた。

団体では、バスケットボール男子が沖縄などで開催されたワールドカップ（W杯）で3勝を挙げて48年ぶりに開催国枠でなく自力で五輪出場を決めた。ハンドボール男子は36年ぶりの、バレーボール男子は16年ぶりの自力出場を決めるなど、球技の躍進が目立った。



レスリング世界選手権女子53キロ級で金メダルに輝き、喜ぶ藤波朱理

個人29選手

■陸上
北口榛花（きたぐち・はるか）（25）JAL。北海道出身。
◇世界選手権女子やり投げで優勝し、マラソン以外では世界大会で日本女子初の金メダルを獲得。ダイヤモンドリーグ（DL）ファイナルでも、全種目を通じて日本勢初の優勝。

■スキー
三木つばき（みき・つばき）（20）浜松いわた信用金庫。静岡県出身。
◇スノーボードの世界選手権女子パラレル大回転で、この種目で日本勢初の優勝。

■テニス
加藤未唯（かとう・みゆ）（29）ザイマックス。京都府出身。
◇ティム・プッツ（独）と組んだ全仏オープン混合ダブルスで優勝。

■ローイング
荒川龍太（あらかわ・りゅうた）（29）NTT東日本。神奈川県出身。
◇W杯男子シングルスカルで3位。

日の丸 活躍に歓喜

▲ 陸上の世界選手権女子やり投げで金メダルを獲得して喜ぶ北口榛花

■ボクシング
岡沢セオン（おかざわ・せおん）（27）INSPA。山形県出身。
◇アジア大会男子71キロ級で金メダルを獲得。

■レスリング
藤波朱理（ふじなみ・あかり）（20）日体大。三重県出身。
◇女子53キロ級で世界選手権を制したほか、アジア大会優勝で中学生時代から続く公式戦連勝を130とした。

■重量挙げ
宮本昌典（みやもと・まさのり）（26）東京国際大職。沖縄県出身。
◇アジア選手権男子73キロ級で優勝した。

■自転車
荘司ゆう（しょうじ・ゆう）（21）千葉県出身。
◇世界選手権でBMXフリースタイル・フラットランドを制した。

■ソフトテニス
上松俊貴（うえまつ・としき）（25）NTT西日本。岡山県出身。
◇アジア大会で男子シングルス、団体、混合ダブルスの3種目を制した。

■卓球
早田ひな（はやた・ひな）（23）日本生命。福岡県出身。
◇女子シングルスで、世界選手権個人戦は銅メダル、アジア大会は銀メダルを獲得した。

フェンシング世界選手権女子サーブル個人で金メダルを獲得し2連覇を達成した江村美咲（中央）

■相撲
池田俊（いけだ・しゅん）（22）金沢学院大。石川県出身。
◇全日本選手権で優勝。

■フェンシング
江村美咲（えむら・みさき）（23）立飛ホールディングス。大分県出身。
◇世界選手権女子サーブル個人で男女通じて日本勢初の大会連覇。

■柔道
角田夏実（つのだ・なつみ）（31）SBC湘南美容クリニック。千葉県出身。
◇女子48キロ級で世界選手権3連覇。アジア大会も優勝。

■弓道
原田友康（はらだ・ともやす）（53）愛知県弓道連盟。愛知県出身。
◇全日本男子選手権で優勝。

■ライフル射撃
岡田直也（おかだ・なおや）（33）ALSOK。岡山県出身。
◇W杯ジャカルタ大会男子エアライフルで優勝。アジア選手権3位でパリ五輪出場枠を獲得。

■剣道
棗田龍介（なつめだ・りゅうすけ）（33）広島県警。広島県出身。
◇全日本選手権で優勝。

■近代五種
佐藤大宗（さとう・たいしゅう）（30）自衛隊。青森県出身。
◇W杯第4戦で日本歴代最高の2位。

■カヌー
田中雄己（たなか・ゆうき）（22）駿河台大。岐阜県出身。
◇スラローム・アジア選手権の男子カヤックシングルで優勝。

■アーチェリー
野田紗月（のだ・さつき）（23）ミキハウス。福岡県出身。
◇世界選手権女子リカーブ個人で銅メダル。

■空手
本一将（もと・かずまさ）（28）AGP。千葉県出身。
◇アジア大会で個人の男子形、男子形団体の2冠。団体は世界選手権も制した。

■クレー射撃
折原研一（おりはら・けんじ）（50）那須国際射撃場。栃木県出身。
◇全日本選手権のスキートで優勝。

■ボウリング
斎藤大哉（さいとう・だいや）（14）埼玉・川口市立戸塚中。埼玉県出身。
◇アジアジュニア選手権男子マスターズ戦で金メダル。

WBCで優勝を決め、喜ぶ大谷翔平（奥）＝日本代表「侍ジャパン」の選手たち

WBC 3度目世界一

3月に開催された野球の国・地域別対抗戦「ワールド・ベースボールクラシック（WBC）」で、栗山英樹監督が指揮した日本代表「侍ジャパン」が優勝した。侍ジャパンは、大谷翔平、ダルビッシュ有、ラーズ・ヌートバーら大リーガーと村上宗隆（ヤクルト）、岡本和真（巨人）らプロ野球トップ選手の混成チームで臨んだ。決勝は大リーグを代表する選手をそろえた米国を3―2で破り、2009年以来で3大会ぶり3度目となる優勝。投打に貢献した大谷が、大会の最優秀選手に選ばれた。

日本スポーツ協会に加盟する競技団体などから推薦を受けて選考する賞の仕組みは、現時点で推薦はされていないものの、侍ジャパンの活躍は日本中の関心を集めた。

大谷MVP

■武術太極拳
エスコルピ登亜（えすこばる・のあ）（15）東京・江東区立東陽中。東京都出身。

■ボウリング
安楽宙斗（あんらく・そらと）（17）千葉・八千代高。千葉県出身。
◇W杯のボルダー、リードの両種目で年間総合優勝。

■カヌー
田中雄己（たなか・ゆうき）（22）駿河台大。岐阜県出身。
◇スラローム・アジア選手権の男子カヤックシングルで優勝。

■アーチェリー
野田紗月（のだ・さつき）（23）ミキハウス。福岡県出身。
◇世界選手権女子リカーブ個人で銅メダル。

■空手
本一将（もと・かずまさ）（28）AGP。千葉県出身。
◇アジア大会で個人の男子形、男子形団体の2冠。団体は世界選手権も制した。

■クレー射撃
折原研一（おりはら・けんじ）（50）那須国際射撃場。栃木県出身。
◇全日本選手権のスキートで優勝。

■ボウリング
斎藤大哉（さいとう・だいや）（14）埼玉・川口市立戸塚中。埼玉県出身。
◇アジアジュニア選手権男子マスターズ戦で金メダル。

■ローラースポーツ
開心那（ひらき・ここな）（15）WHYDAH GROUP。北海道出身。
◇5月の「Xゲームズ」千葉大会、10月の世界選手権のスケートボード女子パークでいずれも優勝。

■バスケットボール
男子日本代表チーム▽監督　富樫勇樹ら12人。
◇W杯で3勝を挙げ、パリ五輪の出場権を獲得。自国開催以外では1976年モントリオール五輪以来、48年ぶり。

■スケート
三浦璃来、木原龍一ペア（木下グ）。
◇フィギュアスケートのペアで日本勢として初めてグランプリファイナル、四大陸選手権、世界選手権で優勝し、主要大会「3冠」を達成。

■セーリング
ベネッセ・トヨタ自動車▽監督　山崎昌樹▽選手　岡田奎樹、吉岡美帆。
◇世界選手権、アジア大会の混合470級で優勝した。

■ハンドボール
男子日本代表チーム▽監督　ダゲル・シグルドソン▽選手　東江雄斗ら20人。
◇パリ五輪アジア予選で優勝し、出場権を獲得。自力での出場権獲得はソウル五輪以来、36年ぶり。

■軟式野球
和合病院▽監督　新田英貴▽選手　山田聡ら23人。
◇天皇賜杯全日本大会、合計で8年ぶりに金メダルを獲得。

■バスケットボール
男子日本代表チーム▽監督　富樫勇樹ら12人。
◇W杯で3勝を挙げ、パリ五輪の出場権を獲得。自国開催以外では1976年モントリオール五輪以来、48年ぶり。

■スケート
三浦璃来、木原龍一ペア（木下グ）。
◇フィギュアスケートのペアで日本勢として初めてグランプリファイナル、四大陸選手権、世界選手権で優勝し、主要大会「3冠」を達成。

■セーリング
ベネッセ・トヨタ自動車▽監督　山崎昌樹▽選手　岡田奎樹、吉岡美帆。
◇世界選手権、アジア大会の混合470級で優勝した。

■ハンドボール
男子日本代表チーム▽監督　ダゲル・シグルドソン▽選手　東江雄斗ら20人。
◇パリ五輪アジア予選で優勝し、出場権を獲得。自力での出場権獲得はソウル五輪以来、36年ぶり。

■軟式野球
和合病院▽監督　新田英貴▽選手　山田聡ら23人。
◇天皇賜杯全日本大会、合計で8年ぶりに金メダルを獲得。

■バスケットボール
男子日本代表チーム▽監督　富樫勇樹ら12人。
◇W杯で3勝を挙げ、パリ五輪の出場権を獲得。自国開催以外では1976年モントリオール五輪以来、48年ぶり。

■スケート
三浦璃来、木原龍一ペア（木下グ）。
◇フィギュアスケートのペアで日本勢として初めてグランプリファイナル、四大陸選手権、世界選手権で優勝し、主要大会「3冠」を達成。

■セーリング
ベネッセ・トヨタ自動車▽監督　山崎昌樹▽選手　岡田奎樹、吉岡美帆。
◇世界選手権、アジア大会の混合470級で優勝した。

■ハンドボール
男子日本代表チーム▽監督　ダゲル・シグルドソン▽選手　東江雄斗ら20人。
◇パリ五輪アジア予選で優勝し、出場権を獲得。自力での出場権獲得はソウル五輪以来、36年ぶり。

■軟式野球
和合病院▽監督　新田英貴▽選手　山田聡ら23人。
◇天皇賜杯全日本大会、合計で8年ぶりに金メダルを獲得。

■バスケットボール
男子日本代表チーム▽監督　富樫勇樹ら12人。
◇W杯で3勝を挙げ、パリ五輪の出場権を獲得。自国開催以外では1976年モントリオール五輪以来、48年ぶり。

■スケート
三浦璃来、木原龍一ペア（木下グ）。
◇フィギュアスケートのペアで日本勢として初めてグランプリファイナル、四大陸選手権、世界選手権で優勝し、主要大会「3冠」を達成。

■セーリング
ベネッセ・トヨタ自動車▽監督　山崎昌樹▽選手　岡田奎樹、吉岡美帆。
◇世界選手権、アジア大会の混合470級で優勝した。

■ハンドボール
男子日本代表チーム▽監督　ダゲル・シグルドソン▽選手　東江雄斗ら20人。
◇パリ五輪アジア予選で優勝し、出場権を獲得。自力での出場権獲得はソウル五輪以来、36年ぶり。

■軟式野球
和合病院▽監督　新田英貴▽選手　山田聡ら23人。
◇天皇賜杯全日本大会、

団体19チーム

■水泳
アーティスティックスイミング（AS）日本代表チュエットペア▽選手　安永真白、比巻もえ（井村ク）。
◇世界選手権ASデュエットテクニカルルーティン（TR）で金メダルを獲得。

■サッカー
女子日本代表チーム▽監督　池田太、狩野倫久▽選手　熊谷紗希、塩越柚歩ら43人。
◇女子W杯で8強入り。アジア大会では2連覇。

■ホッケー
福井・丹生高女子ホッケー部▽監督　吉田能宏▽選手　福士真菜ら21人。
◇全国高校選抜、全国高校総体、国体の3大会を制覇。

■バレーボール
パリ五輪予選男子日本代表チーム▽選手　石川祐希ら15人。
◇五輪予選で8戦全勝となり、開催国枠以外では北京大会以来16年ぶりの五輪出場権を獲得。

■ローラースポーツ
開心那（ひらき・ここな）（15）WHYDAH GROUP。北海道出身。
◇5月の「Xゲームズ」千葉大会、10月の世界選手権のスケートボード女子パークでいずれも優勝。

■バスケットボール
男子日本代表チーム▽監督　富樫勇樹ら12人。
◇W杯で3勝を挙げ、パリ五輪の出場権を獲得。自国開催以外では1976年モントリオール五輪以来、48年ぶり。

■スケート
三浦璃来、木原龍一ペア（木下グ）。
◇フィギュアスケートのペアで日本勢として初めてグランプリファイナル、四大陸選手権、世界選手権で優勝し、主要大会「3冠」を達成。

■セーリング
ベネッセ・トヨタ自動車▽監督　山崎昌樹▽選手　岡田奎樹、吉岡美帆。
◇世界選手権、アジア大会の混合470級で優勝した。

■ハンドボール
男子日本代表チーム▽監督　ダゲル・シグルドソン▽選手　東江雄斗ら20人。
◇パリ五輪アジア予選で優勝し、出場権を獲得。自力での出場権獲得はソウル五輪以来、36年ぶり。

■軟式野球
和合病院▽監督　新田英貴▽選手　山田聡ら23人。
◇天皇賜杯全日本大会、

優秀選手

■陸上
北口榛花（JAL）
■スキー
三木つばき（浜松いわた信用金庫）
■テニス
加藤未唯（ザイマックス）
■ローイング
荒川龍太（NTT東日本）
■ボクシング
岡沢セオン（INSPA）
■レスリング
藤波朱理（日体大）
■重量挙げ
宮本昌典（東京国際大職）
■自転車
荘司ゆう
■ソフトテニス
上松俊貴（NTT西日本）
■卓球
早田ひな（日本生命）
■相撲
池田俊（金沢学院大）
■フェンシング
江村美咲（立飛ホールディングス）
■柔道
角田夏実（SBC湘南美容クリニック）
■弓道
原田友康（愛知県弓道連盟）
■ライフル射撃
岡田直也（ALSOK）
■剣道
棗田龍介（広島県警）
■近代五種
佐藤大宗（自衛隊）
■山岳・スポーツクライミング
安楽宙斗（千葉・八千代高）
■カヌー
田中雄己（駿河台大）
■アーチェリー
野田紗月（ミキハウス）
■空手
本一将（AGP）
■クレー射撃
折原研二（那須国際射撃場）
■ボウリング
斎藤大哉（埼玉・川口市立戸塚中）
■武術太極拳
エスコパル登亜（東京・江東区立東陽中）
■トライアスロン
高橋侑子（相互物産）
■ゴルフ
中島啓太
■テコンドー
丹羽結子（武庫川女大院）
■サーフィン
五十嵐カノア（木下グループ）
■ラグビー
開心那（WHYDAH GROUP）

優秀団体

■水泳
アーティスティックスイミング日本代表デュエットペア
■サッカー
女子日本代表チーム
■ホッケー
福井・丹生高女子ホッケー部
■バレーボール
パリ五輪予選男子日本代表チーム
■体操
男子日本団体チーム
■バスケットボール
男子日本代表チーム
■スケート
三浦璃来、木原龍一ペア（木下グ）
■セーリング
ベネッセ・トヨタ自動車東日本チーム
■ハンドボール
男子日本代表チーム
■軟式野球
和合病院
■馬術
障害馬術日本代表チーム
■ソフトボール
アジア大会日本代表チーム
■ラグビー
女子セブンズ日本代表チーム
■剣道
自衛隊普通科教導連隊
■カーリング
混合ダブルス日本代表チーム
■学生野球
U―18高校日本代表チーム
■アメリカンフットボール
フラッグフットボール女子日本代表チーム

◇推薦辞退
アイスホッケー、バドミントン、ボブスレー・リュージュ・スケルトン、バイアスロン

◇日本スポーツ賞委員会
安西孝之（日本ゴルフ協会特別顧問）　宇津木妙子（日本ソフトボール協会副会長）　遠藤利明（日本スポーツ協会会長）　桜井孝次（日本陸上競技連盟副会長）　田嶋幸三（日本サッカー協会会長）　林純一（日本オリンピック委員会名誉会長）　村上敏彦（国際スキー・スノーボード連合名誉会長）　平松純子（国際スケート連合名誉会長）　森喜朗（元内閣総理大臣）　山下泰裕（日本オリンピック委員会会長）＝以上50音順、敬称略

◇読売新聞グループ本社代表取締役社長　渡辺恒雄
◇読売新聞グループ本社代表取締役社長　山口寿一（同本社代表取締役社長）　石井隆一（放送網代表取締役社長）　行方俊彦（同代表取締役）　取締役編集局長　前田理一郎（読売新聞東京本社専務取締役編集局長）　山田隆（同本社執行役員業務局長）

■鹿児島特別国体で優勝。
■馬術
障害馬術日本代表チーム▽監督　中野善弘▽選手　板倉祐子ら4人。
◇障害飛越のパリ五輪地域予選で2位に入り、団体出場枠を獲得。
■ソフトボール
アジア大会日本代表チーム▽監督　宇津木麗華▽選手　上野由岐子ら17人。
◇アジア大会で6連覇を達成。
■ラグビー
女子セブンズ日本代表チーム▽選手　平野優芽ら12人。
◇7人制ラグビーのワールドシリーズに過去最高となる3総合8位。
■剣道
自衛隊普通科教導連隊▽監督　坂元誠▽選手　佐藤岳ら5人。
◇全日本選手権優勝大会の防衛省・納め部で2連覇。
■なぎなた
鹿児島県成年女子演技チーム▽監督　上野千代子▽選手　田口真耶、秋葉栄里。
◇国体の成年女子演技で2連覇。
■野球
トヨタ自動車▽監督　藤原航平▽選手　北村祥治ら39人。
◇都市対抗大会で7年ぶり2度目の優勝。
■カーリング
混合ダブルス日本代表チーム▽選手　松村千秋、谷田康真。
◇混合ダブルス世界選手権で日本勢初となる銀メダルを獲得。
■学生野球
U―18（18歳以下）高校日本代表チーム▽監督　馬淵史郎▽選手　小林隼翔ら20人。
◇U―18W杯で初優勝。
■アメリカンフットボール
フラッグフットボール女子日本代表チーム▽監督　桑原昂司▽選手　磐田千紘ら12人。
◇初開催のアジア・オセアニア大陸選手権で優勝。